



Linking your dreams
リンテック株式会社

新中期経営計画の概要

計画名称：LINTEC Innovation Plan II（略称 LIP-II）

計画期間：2008年4月～2011年3月

2008年5月20日
リンテック株式会社

■前中期経営計画「L I P 2 1 2」の総括

- ・ 定量計画の達成状況
- ・ 成果と問題点

■新中期経営計画「L I P-Ⅱ」の概要

- ・ 指針
- ・ 重点課題
- ・ 定量計画

定量計画の達成状況（億円）

LIP212

	05/3期 実績	08/3期 実績	08/3期 計画	対計画 差異	対計画比	3年間 増減額	3年間 増減率
売上高	1,717	2,023	2,100	▲77	96%	306	18%
営業利益	124	149	205	▲56	73%	25	20%
経常利益	117	133	200	▲67	66%	16	13%
当期純利益	78	93	130	▲37	72%	15	20%

（営業利益未達の主な要因）

■売上高の未達

- ・売上高が計画に対して77億円の未達

⇒ 影響額 20億円

■原燃料価格の上昇によるコスト増

- ・想定28億円に対して60億円に拡大

⇒ 影響額 32億円

■減価償却費の増加

- ・積極投資と税制改正により、計画80億円に対して90億円に増加

⇒ 影響額 10億円

事業部門別売上高計画の達成状況（億円）

LIP212

	05/3期 実績	08/3期 実績	08/3期 計画	対計画 差異	対計画比	3年間 増減額	3年間 増減率
洋紙	214	209	227	▲18	92 %	▲5	▲2 %
加工材	216	225	249	▲24	90 %	9	4 %
印刷・情報材	525	567	587	▲20	97 %	42	8 %
産業工材	287	338	314	24	108 %	51	18 %
アドバンス材料ズ	216	319	370	▲51	86 %	103	48 %
ヘルスケア	17	19	30	▲11	62 %	2	10 %
オプティカル材	242	346	323	23	107 %	104	43 %
合計	1,717	2,023	2,100	▲77	96 %	306	18 %

「LIP212」の成果と問題点

成果

- 成長分野における事業拡大
- グローバル展開の強化
- 原価低減の推進

問題点

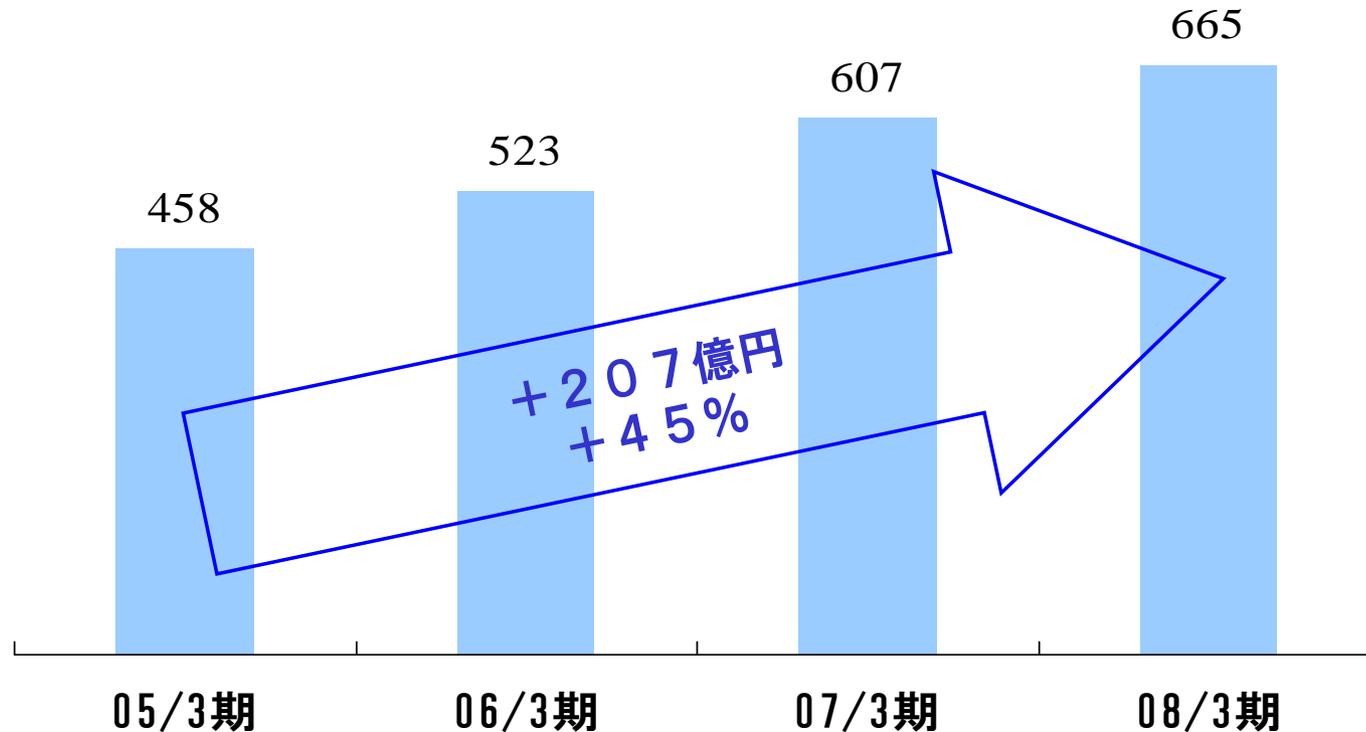
- 中核事業における売上高の未達
- 成長分野における一部新規設備で収益貢献の遅れ

成果

■成長分野における事業拡大

●半導体関連、情報電子関連、光学関連分野の強化により、収益基盤の拡大を実現

成長分野の売上高推移（億円）



※アドバンストマテリアルズ事業部門とオプティカル材事業部門の合計売上高

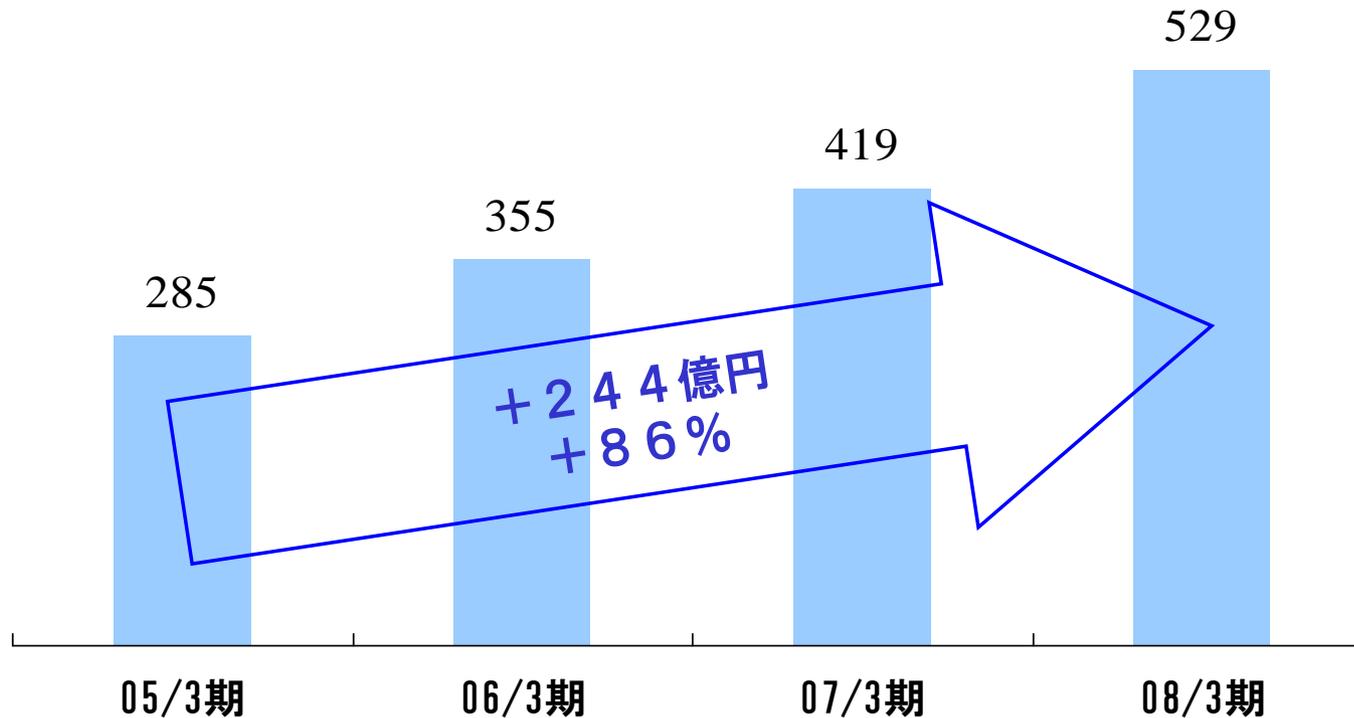
成果

■グローバル展開の強化

●成長著しいアジア市場をターゲットに生産・販売拠点を拡充

海外売上高比率 05/3月期 17% ⇒ 08/3月期 26%

海外売上高推移（億円）

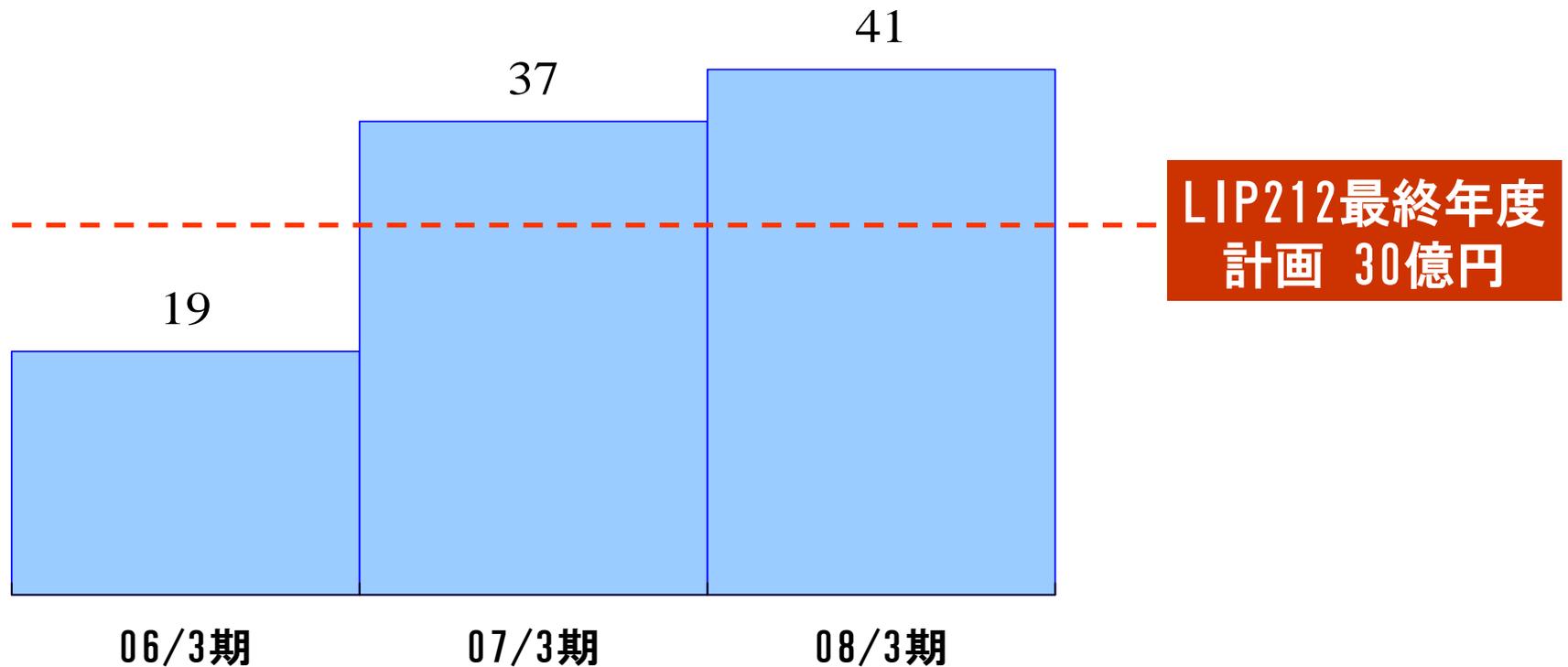


成果

■原価低減の推進

●工程歩留まりの改善、生産効率の向上、外注加工の内製化、燃料転換など

原価低減の状況（05/3月期比：億円）



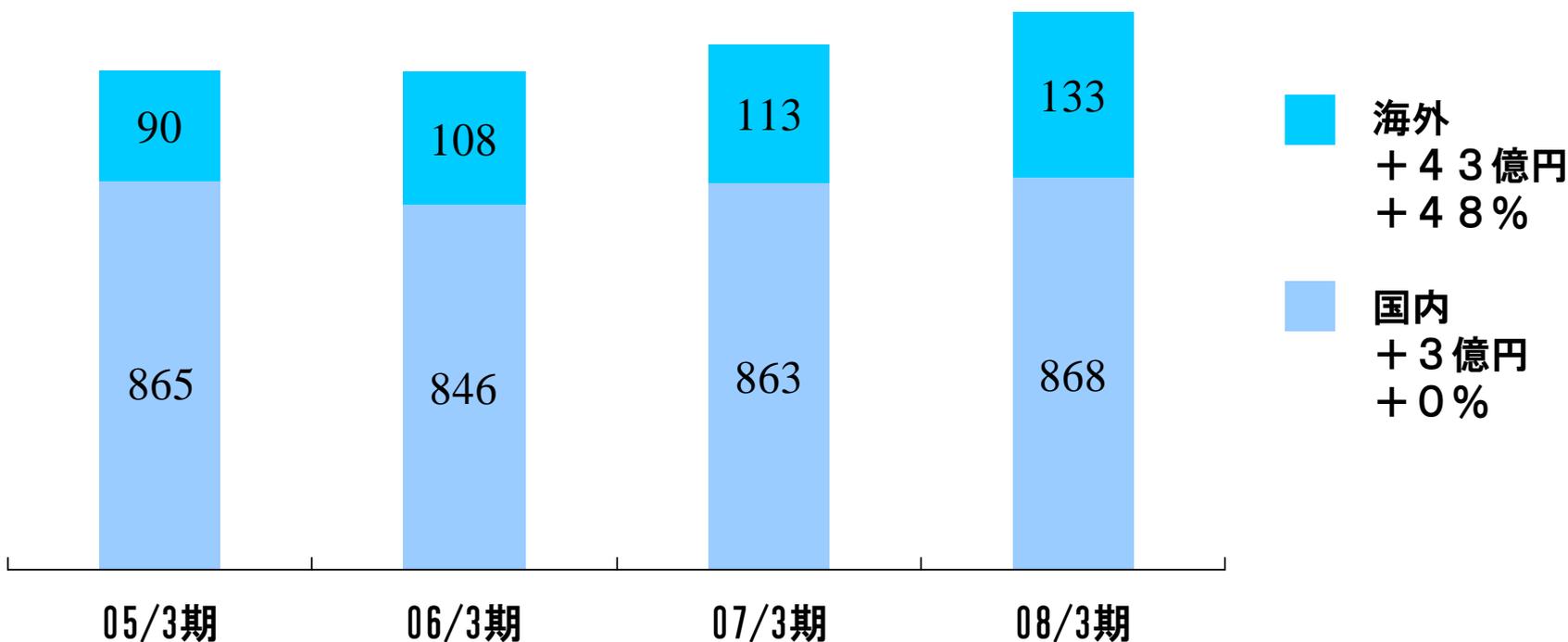
※歩留まり、外注加工費など変動費のみを評価

問題点

■中核事業における売上高の未達

●印刷・情報材、洋紙、加工材事業の国内販売が低調

印刷・情報材、洋紙、加工材事業の国内/海外売上高推移（億円）



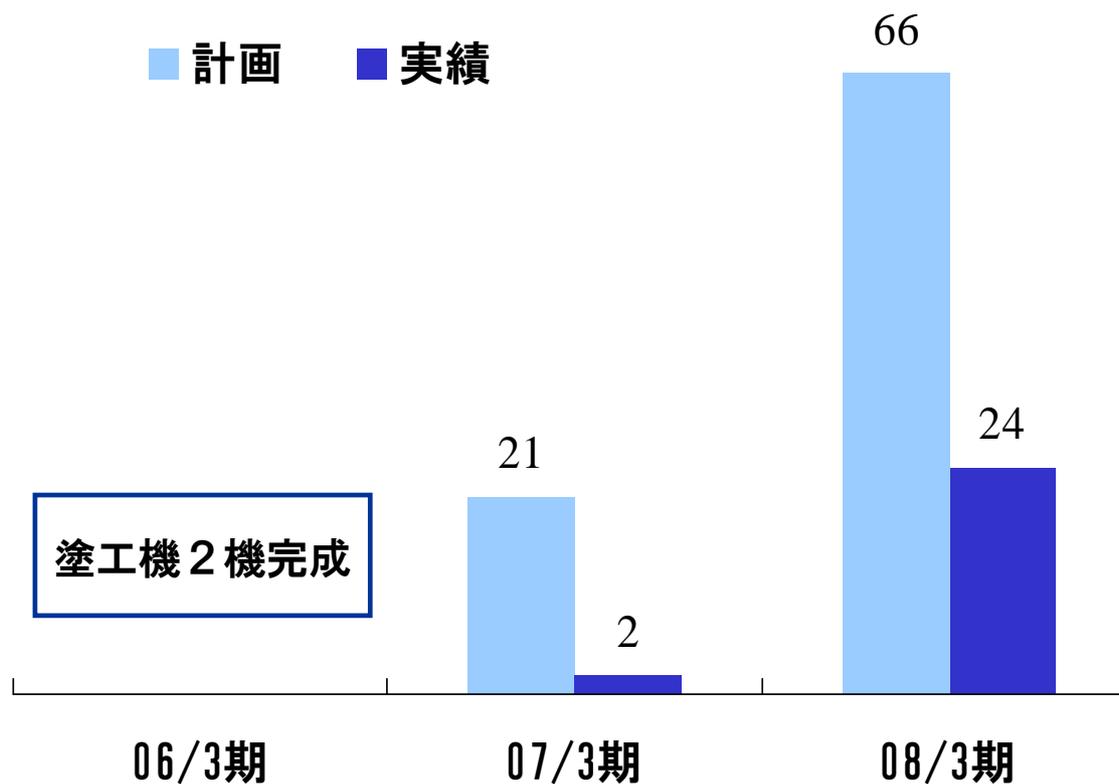
問題点

■成長分野における一部新規設備で収益貢献の遅れ

●リンテックコアの本格稼働遅れ・・・原材料要因など

●液晶関連、積層セラミックコンデンサー市場の調整局面によるマシンの稼働率低下

リンテックコアの売上高推移（億円）



(指針)

「飽くなきイノベーション」に挑戦し、持続的成長と収益基盤の強化・拡大を目指す

(重点課題)

- ①中核事業の高付加価値化と成長事業のさらなる拡大
- ②グローバル化の継続推進
- ③研究開発力の強化
- ④コーポレートガバナンスの強化

企業価値の向上

あらゆるステークホルダーから評価され、信頼される企業へ

①中核事業の高付加価値化と成長事業のさらなる拡大

(1)生産体制の再構築

生産体制の最適化、裁断工程・構内ロジスティクスの合理化など

(2)成長分野（半導体・情報電子・光学・炭素繊維・太陽電池関連）の拡大

(3)原価低減の推進

工程歩留まりの改善、生産効率の向上、外注加工の内製化
コストダウン処方の確立、品種統合、燃料転換の推進

(4)業務プロセスの標準化とIT化の推進

(5)戦略的M&Aと事業提携による収益基盤の強化・拡大

生産体制の再構築に関する主な施策

龍野工場再構築

- ・ 塗工機、裁断機のスクラップ&ビルド
- ・ 仕掛品/製品の自動搬送設備の拡充
- ・ 裁断出荷エリアの集約
- ・ 自動ラック設備の拡充

生産設備の統廃合

- ・ 半導体/光学関連粘着製品
吾妻工場の既存塗工機停機（2機） ⇒ 吾妻工場の新塗工機にシフト
- ・ 炭素繊維プリプレグ用工程紙
小松島工場の既存塗工機停機（1機） ⇒ 三島工場の新塗工機にシフト



高効率化、高品質化、歩留まり改善

②グローバル化の継続推進

(1) 中国市場における生産・販売体制の強化・拡充

- ・ リンテック蘇州を核として自動車・携帯電話・弱電市場向けなどの高機能材料分野をターゲットに展開
- ・ リンテック蘇州の生産能力増強（2010年度に粘着塗工機を増設予定）

(2) 次なる成長市場における生産・販売体制の強化・拡充

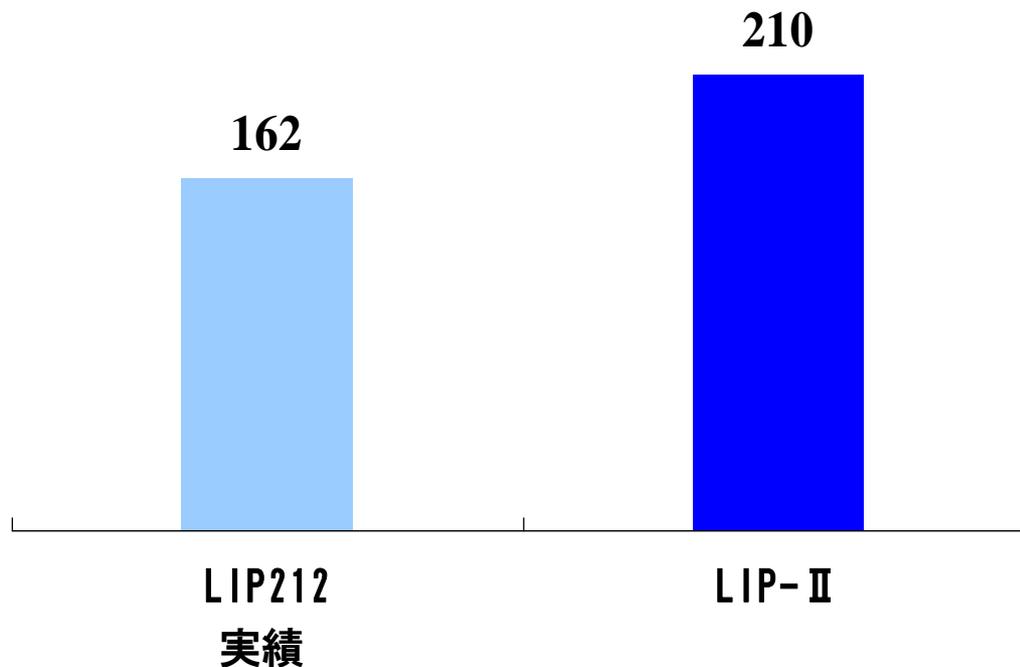
- ・ インド（ニューデリー、ムンバイ、チェンナイ）⇒ 自動車関連・半導体関連製品など
- ・ ベトナム ⇒ 印刷用粘着製品
- ・ イスラエル、アイルランド ⇒ 半導体関連製品
- ・ 東南アジア地域における粘着フィルムの増産体制確立

(3) 太陽電池用バックシートの需要拡大への対応

③ 研究開発力の強化

- (1) 研究所組織 ⇒ 製品研究部と新素材研究部に改編し、開発効率を向上
- (2) 技術コラボレーション（産・官・学、産・産）の推進による基盤技術の深耕・拡大
- (3) 製品設計と並行した製造工程設計技術の確立による量産化プロセスの構築

研究開発費（3年間合計）



■ 開発ターゲット

- ・ 表示ディスプレイ材料分野
- ・ エネルギー関連分野
- ・ 記録光ディスク分野
- ・ 環境対応分野
- ・ 新規材料分野

④コーポレートガバナンスの強化

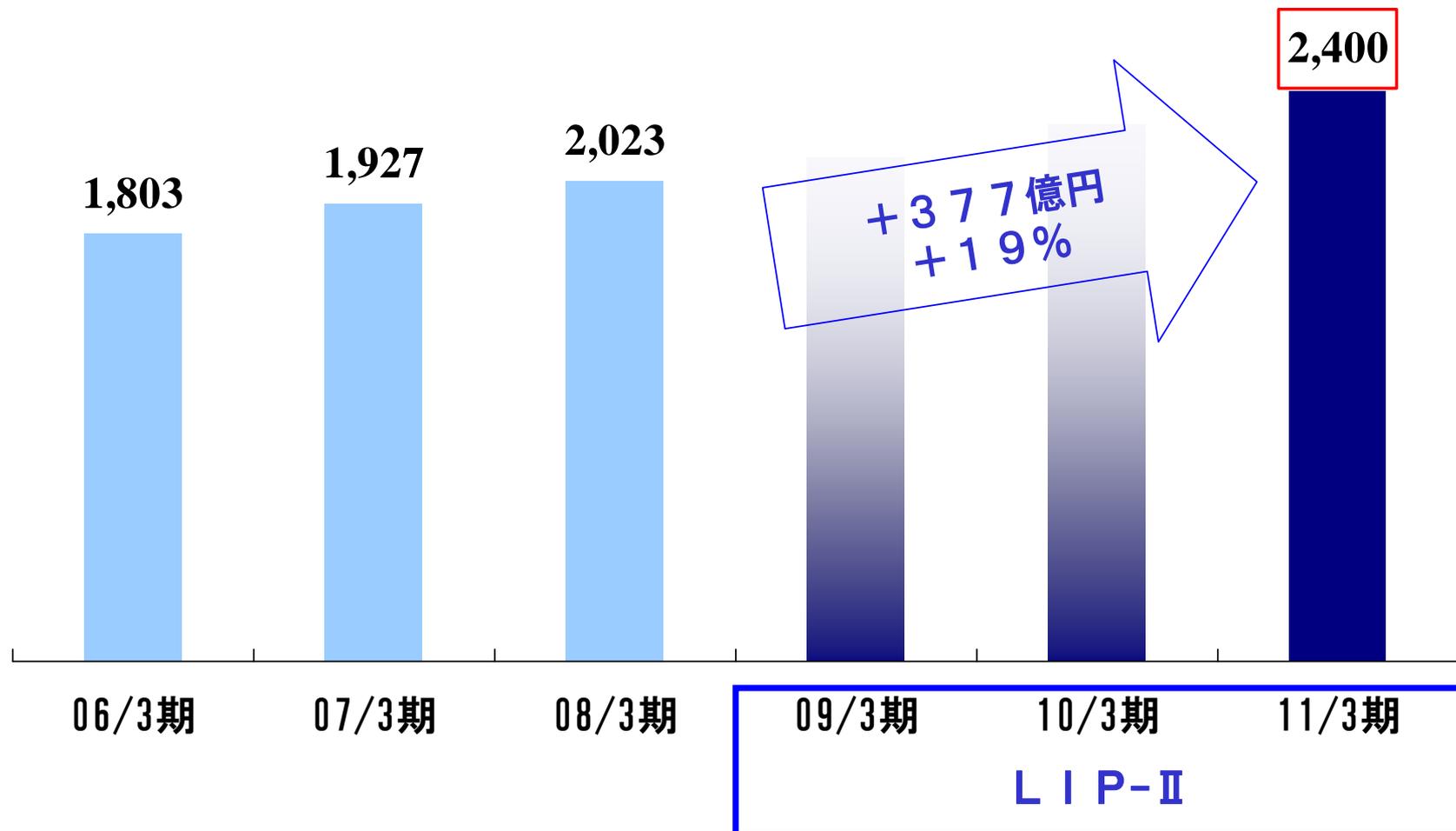
(1) コンプライアンス体制およびリスク管理体制の強化

- ・ 内部統制システムの徹底運用
- ・ ヘルプライン（従業員内部相談制度）の改善
- ・ CSR推進体制の強化

「CSR委員会」を改組し、社長直轄の組織である「CSR推進室」を設置

(2) 組織力強化に向けたキーポスト人材の育成

売上高計画（億円）

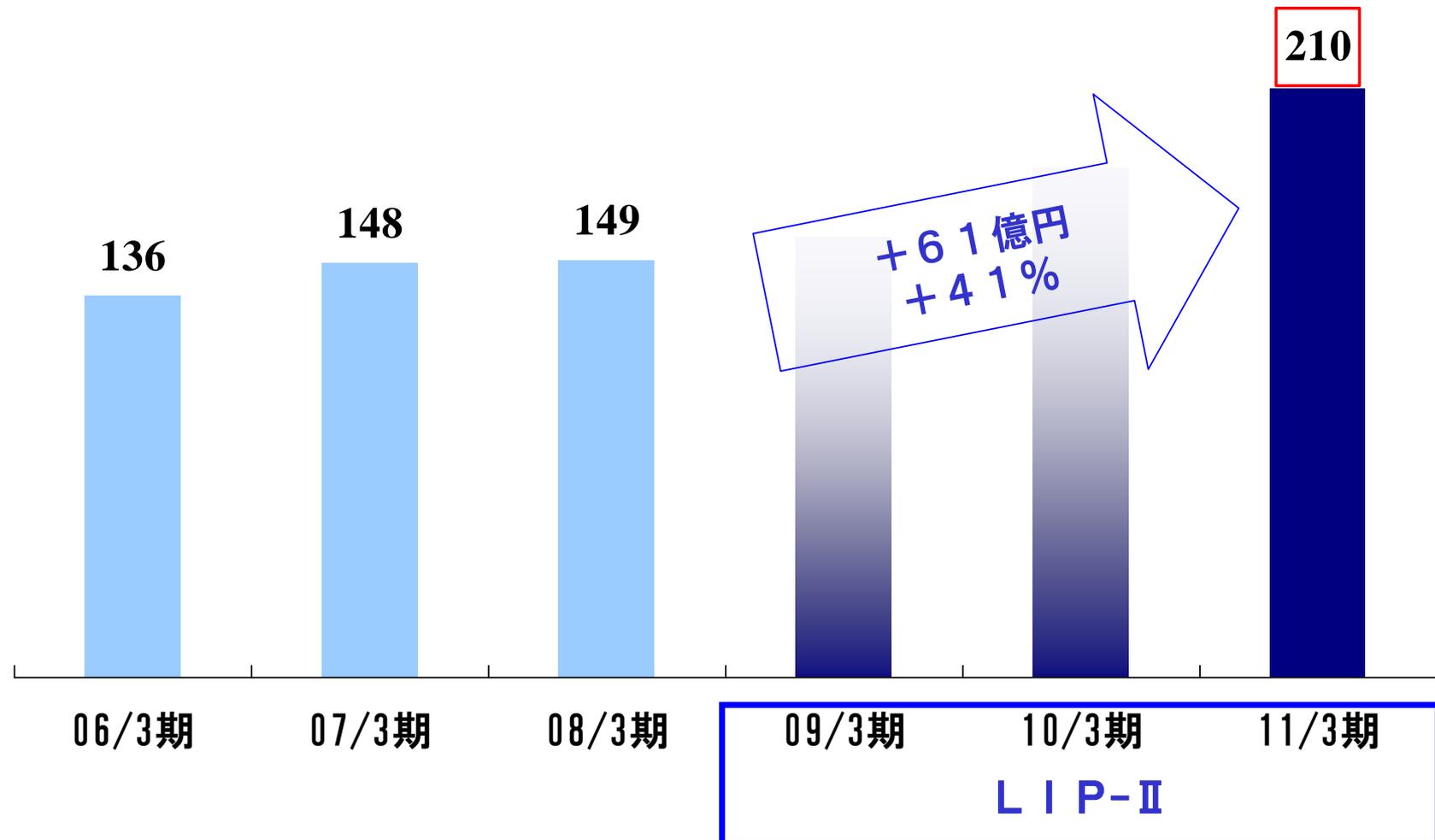


事業部門別売上高計画（億円）

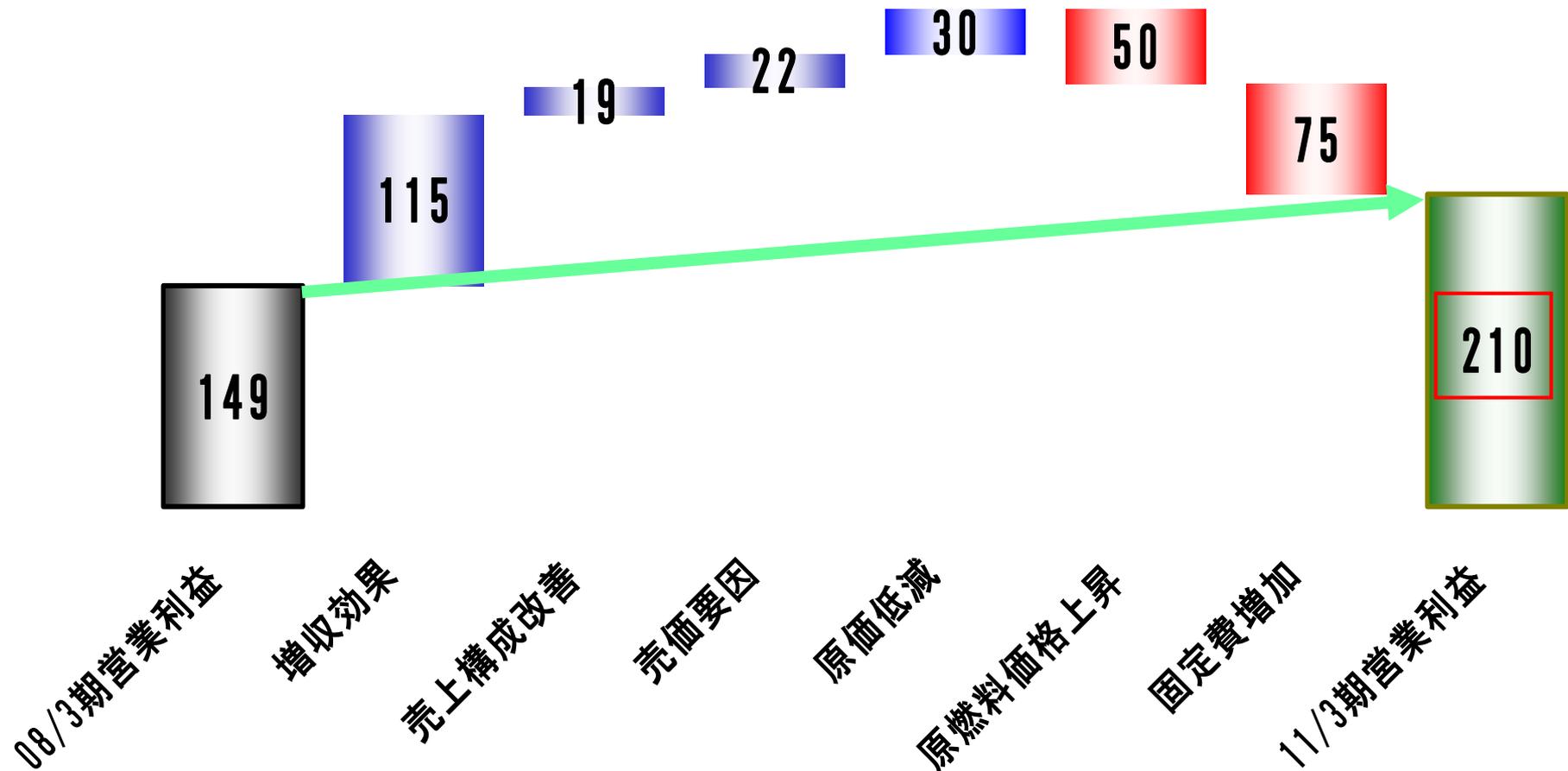
	LIP-II					
	06/3期 実績	07/3期 実績	08/3期 実績	11/3期 計画	08/3期比 増減額	08/3期比 増減率
洋紙	213	212	209	218	9	4 %
加工材	214	222	225	251	26	11 %
印刷・情報材	469	482	505	548	43	8 %
産業工材	365	384	400	456	56	14 %
アドバンストマテリアルズ	265	304	319	412	93	29 %
ヘルスケア	19	20	19	25	6	35 %
オプティカル材	258	303	346	490	144	42 %
合計	1,803	1,927	2,023	2,400	377	19 %

(注) 2008年4月1日の組織変更で可変情報印字用ラベルサプライ製品などを印刷・情報材事業部門から産業工材事業部門に移管しました。
上表は過去の実績を新組織に組み替えて記載しております。

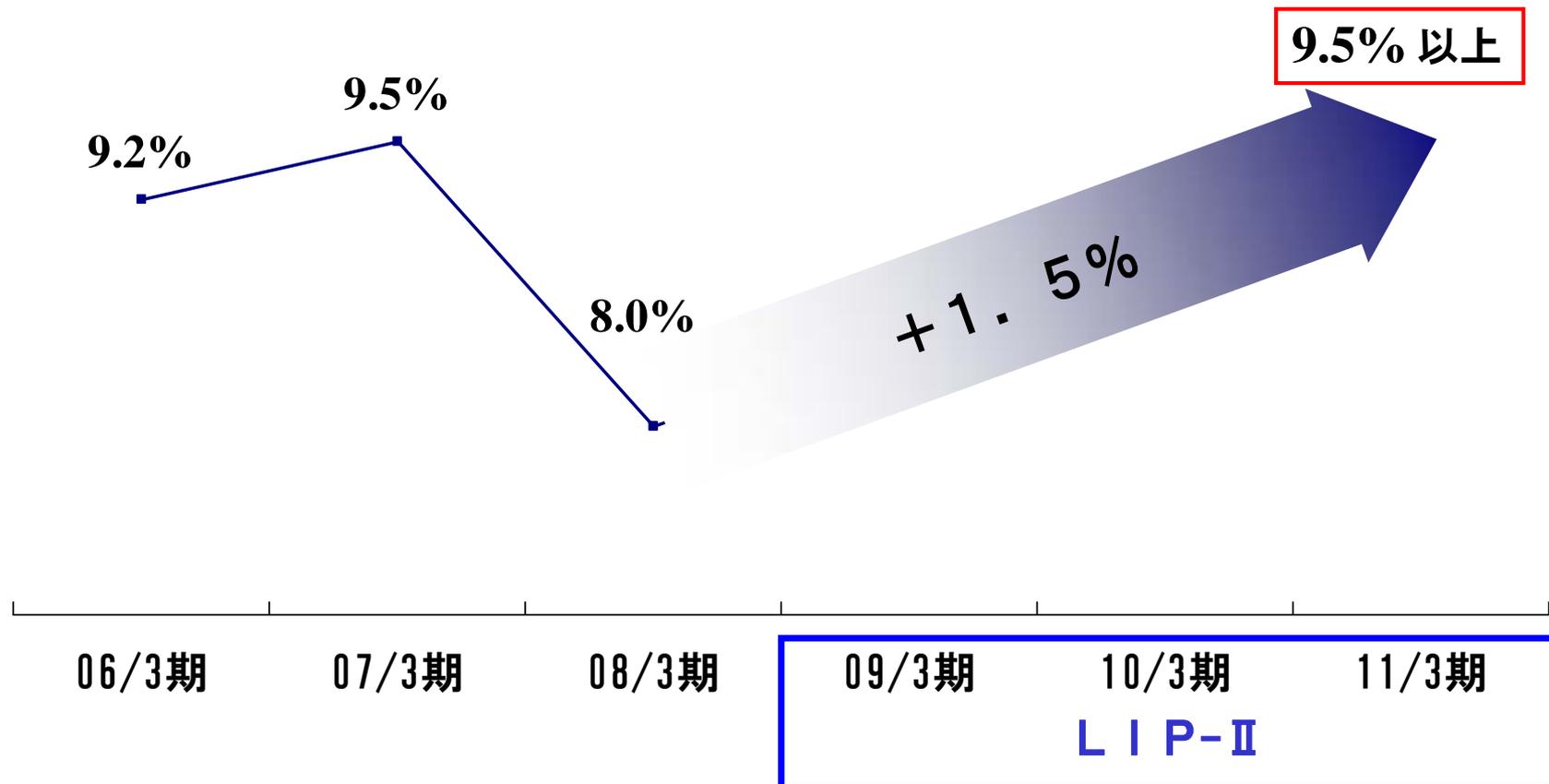
営業利益計画（億円）



営業利益要因別増減（億円）



ROE計画



設備投資額と減価償却費（億円）

L I P 2 1 2 (実績)

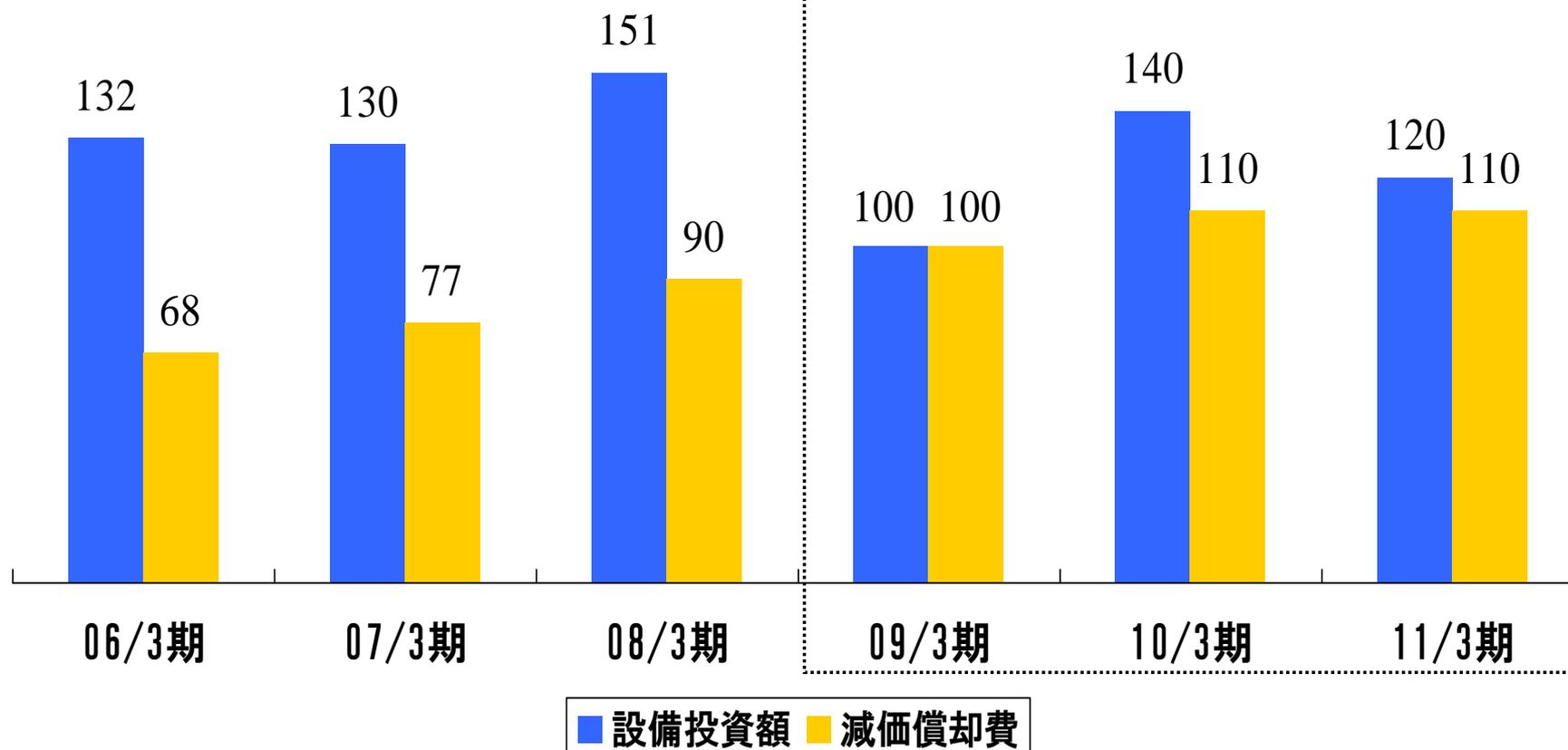
設備投資額 4 1 3 億円

減価償却費 2 3 5 億円

L I P-Ⅱ

設備投資額 3 6 0 億円

減価償却費 3 2 0 億円



本資料の内容に関する注意

本資料に記載された計画や予測等は、資料作成時点での様々な前提に基づいた弊社の判断であり、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがあります。